

お申し込み方法

060427

参加費

全国老人給食協会の会員 5,000円(資料・交流会費含)

一般 5,500円(")

お申し込みは下記に必要事項をご記入の上、FAXまたは電話にてお願いします。折り返し受け付け番号をお知らせいたします。参加費は当日受付にてお支払いください。事前に申し込みがないと、当日会場において頂いても入場できない場合があります。必ず事前にお申し込みください。

参加申込書

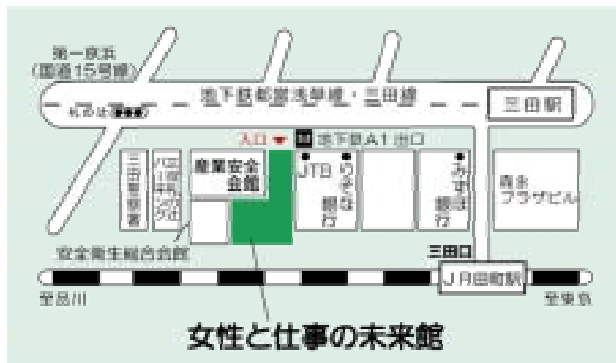
ふりがな 氏名:	受付番号
所属(職場)名:	
会員 / 一般(どちらかに)	
自宅 / 所属(職場) 住所: 〒	
自宅 / 所属(職場) 電話番号:	
ファクシミリ:	
交流会への参加に 印を付けて下さい	
交流会への参加: する ・ しない	

(FAX03-5426-2548 / 電話03-5426-2547)

全国老人給食協会 行

会場のご案内

女性と仕事の未来館(港区芝5-35-3)



交通 JR田町駅三田口(西口)から徒歩3分/地下鉄(都営浅草線、都営三田線)三田駅 A1出口から徒歩1分
車でのご来場はご遠慮ください。

参加申し込み / お問い合わせ先

全国老人給食協会

ミールズ・オン・ホイールズ日本協会

ホームページ <http://www.mow.jp>

〒156-0054

東京都世田谷区桜丘4-13-21

老人給食協会ふきのとう内

TEL 03-5426-2547

FAX 03-5426-2548

受付時間

月~金

午前10:00~午後5:00

第9回 全国食事サービス活動セミナー

食と老化予防



日時 平成18年7月16日(日)
10:20~16:20

会場 女性と仕事の未来館

主催 全国老人給食協会
(ミールズ・オン・ホイールズ日本協会)

共催 老人給食協会ふきのとう
社会福祉法人ふきのとうの会
東京食事サービス連絡会 (順不同)

後援 厚生労働省(予定)
財団法人さわやか福祉財団 勤労者マルチライフ支援センター(予)
/ 東京ボランティア・市民活動センター(予) / 特定非営利活動法人高齢社会をよくする女性の会(予) / 全国婦人新聞社(予)(順不同)

開催趣旨

0600427

今年介護保険改定元年、栄養改善事業が介護予防として介護保険に組み込まれる一方、従来の食事サービス（配食・会食）は任意事業となり、公的福祉サービスとしての位置付けは大きく揺らぐこととなりました。

しかし、こうした状況の時こそ情報を正しく把握し、サービスの質向上のための知識を吸収することが大切だと考えます。

今回で9回目となる当セミナーでは、昨今注目を集めている「食と老化予防」をメインテーマといたします。

介護予防の栄養改善事業の実態が見えにくい今、正しい栄養改善の手立てを第一人者から学び、先行事例を知ることは大きな力となります。

多くの方々のご参加を
お待ちしております。

全国老人給食協力会とは

コミュニティに暮らす人自らが参加して行う地域の食生活支援活動を、高齢社会に対応できるサービスとして育てていくことを目的に、全国で活動する団体や個人がつくる連絡組織です。

プログラム

開場（受付開始 10:00）

開会挨拶（10:20）

全国老人給食協力会代表 石田惇子

講 義（10:30～）

「新しくなった介護保険のねらい
・介護予防」

講師：厚生労働省担当者

基調講演（11:10～）

「元気で長生きのために
・老化を遅らせる食生活」

講師：熊谷修氏

（人間総合科学大学教授・東京老人総合研究所客員研究員）

全国の自治体で活用されている「低栄養ハンドブック」監修者であり、高齢期の健康維持・増進のための食に関する第一人者である講師から、科学的根拠を基にタンパク質と脂肪のとり方・食の多様性の大切さ・運動との組み合わせの効果など、介護予防を目的とした食事サービスが目指すべき方向についてお話しいただきます。

休 憩（12:00～13:00）



事例報告（13:00～）

「介護予防に資する
食事サービス」

助言：熊谷修氏（人間総合科学大学教授）

進行：安藤雄太氏（東京ボランティア・市民活動センター副所長）

事例 「運動と食事改善を組み合わせた
TAKE10（テイクテン）で老化防止」
報告：木村美佳氏

（国際生命科学協会健康推進協力センター）

<TAKE10>とは運動と食事改善を組み合わせた老化予防プログラム。高齢期の健康の維持・向上に大きな効果があり器機類も使わず簡単に導入できるとあって、大きく注目されています。

東京墨田区での事例を基に食事サービスに付加できる介護予防策を探ります。

事例 「低栄養予防教室・おいしく食べて
元気もりもり教室の実践」

報告：大村美智子氏（北九州市保健福祉局）

2005年に北九州市で行われた低栄養予防教室の事例。従来の「あれはダメ、これはダメ」の栄養指導ではなく、本人の気づきを大切にしたい楽しい教室をモットーにすすめられました。地域のボランティアの協力も得ながら、<どうすすめたか> <どんな効果があったか> 報告していただきます。

事務連絡（14:40～）

明治安田生命保険相互会社「愛の声かけ
配食運動」平成18年度市民参加型食事サ
ビス活動助成贈呈式

総 括（15:00～）

山崎美貴子氏（東京ボランティア・市民活動センター所長）

交流会（15:40～16:20）（予）